

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第1号

9月からスタートした、REO(レオ)プロジェクト。この活動の中で、皆さんが見つけた友達の「尊敬できるところ(良さ)」を、この“南天通信 REOプロジェクト広報版”で、少しずつ皆さんに紹介していきます。これを読んで、多くの人が今まで気付かなかった友達の良さに目を向けてくれると、とてもうれしく思います。

【1年生の生徒から】

Aさんが掃除のとき、いやな顔もせず、ちりとりをすぐにやってくれました。それに、先生に会ったとき、必ず大きな声であいさつをされていて、すごいと思います。

【2年生の生徒から】

Cさんが、Dさんの傘を拾って、渡してあげていた。優しいと思ったし、すぐにDさんの傘だとわかっていたので、人のことをよく見ているなと思った。

【2年生の生徒から】

学校から帰るとき、雨が降ってきたことがありました。そのとき私は傘を忘れてしまったんだけど、Gさんが傘を貸してくれました。Gさんはとても心の暖かい人だと思いました。

【3年生の生徒から】

掃除のときIさんは、手洗い場を隅から隅まで洗っていた。

【3年生の生徒から】

Kさんは、僕が欠けすぎているところをいつも補ってくれている。(いつも感謝しております。)

【1年生の生徒から】

僕が困っているとき、Bさんが、近くにいてくれて「だいじょうぶ?」とってくれました。

【1年生の生徒から】

Eさんは、周りのことをよく見ている、みんながやらないことを、率先してやってくれている。

【2年生の生徒から】

班活動で、牛乳当番が自分一人だったときに、Fさんが牛乳をいっしょに運んでくれました。Fさんは台ふきも手伝ってくれました。

【3年生の生徒から】

授業でHさんは、分からない問題とかでも、自信をもって自分の意見を言っていてすごい。

【3年生の生徒から】

Jさんが係の仕事で、重たそうなノートのを運んでいたり、次回の授業の準備を細かく連絡してくれた。

☆ 自分でも気が付かなかった行為が、人に感謝や感動、尊敬の気持ちをもたせたりすることがあるんだなあ…。そんなことを、皆さんからの文章を読みながら感じています。これからの皆さんからの報告を楽しみにしています。